

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 23 日 更新

事務事業名		指定ごみ袋販売事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩
	施策	21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課	担当者名	黒田 朋宏
	施策の柱	62 ごみの発生抑制とリサイクルの推進				所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10193	根拠法令 合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 合志市収入証紙条例		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成6年度にごみ袋が有料になってから事業を開始した。 合志市指定のごみ袋の製作、ごみ袋を売りさばき店に販売、販売手数料の支払いを行う。 人口の増加及びごみの分別の種類が増加したことに伴い、ごみ袋の製作枚数が年々増えている。
【業務の流れ】	ごみ袋の製作（業者選定、仕様書渡し、入札、契約、検査、納品、支払い）事務、在庫管理、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋受け渡し、売さばき手数料の支払い
【主な予算費目】	役務費、委託料
【意見や要望】	市議会からは、ごみ袋料金改定について、関係市町との協議を継続する旨の意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) ごみ袋の在庫管理、製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡しを行い、売捌き手数料を支払った。 ごみ袋販売枚数: 燃やすごみ用2,564,940枚、資源物用714,690枚、不燃ごみ用88,270枚、粗大ごみシール5,764枚、証紙(ごみ袋)販売収入63,161,650円		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料の支払い、在庫管理
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 枚	予算の主な増減の理由 近年、人口増加やコロナ禍の影響でごみ袋販売量が増加傾向にあったため、令和5年度のごみ袋の製作量を増やしていたが想定よりも販売量が少なかったため余剰が発生した。令和6年度のごみ袋製作量のうち、その余剰分を減らすことに伴う減
→ ア 証紙買受枚数 イ ごみ袋受け渡し回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
ごみ袋売さばき店		→ ア 売捌き店の数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
迅速、正確なごみ袋の受け渡しをする		→ ア ごみ袋販売に要する時間 イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
意図の迅速、正確なごみ袋の受け渡しをすることで事業の効率化が図られるため、成果指標を「ごみ袋販売に要する時間」とし、近年の実績を考慮し目標値を「730時間」と設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	枚		3,492,094	3,501,474	3,510,000	3,373,664	3,519,000	3,528,000	3,537,000	3,546,000	
	回		996	999	1,050	939	1,075	1,100	1,125	1,150	
② 対象指標	軒		113	111	130	104	130	130	130	130	
③ 成果指標	時間		712	715	720	720	730	740	750	760	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	37,544	47,464	62,819	49,479	58,551	64,400	65,400	66,400
	(A) 事業費計	千円	37,544	47,464	62,819	49,479	58,551	64,400	65,400	66,400	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	7	7	6	7	7	7	7
		延べ業務時間	時間	1,240	1,270	1,050	1,250	1,050	1,050	1,050	1,050
		(B)人件費計	千円	4,848	4,833	4,183	4,552	4,183	4,183	4,183	4,183
トータルコスト(A)+(B)		千円	42,392	52,297	67,002	54,031	62,734	68,583	69,583	70,583	

事務事業名	指定ごみ袋販売事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 売りさばき店から電話での事前申し込みや、事前にごみ袋購入代金を受ける事で、ごみ袋販売に係る入金時間とごみ袋の搬出時間が短縮できることで目標達成の見込みはある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 納付書作成をデジタル化により時間短縮が可能になれば、成果向上の余地はあると思われる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成21年度に指定ごみ袋納入事業と統合した。他に事業との統合はできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はごみ袋の製作費と売りさばき手数料であり、ごみ袋の販売枚数は増えているので削減はできない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 売りさばき店がごみ袋を購入する際に、ごみ袋の搬出を協力してもらうことで削減の余地がある。ただし、売りさばき店の理解と協力が必要になる。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ごみ袋売りさばき店は市の指定店であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ごみ袋（収入証紙）の販売は市の業務であるため、事務委託（再委託）することができない。

3 評価結果の総括（CHECK）

令和5年度は、ごみ袋作成事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料を支払い、在庫管理を行った。証紙販売枚数は3,373,664枚である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<